

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ライブステージ鑑賞2		
科目基礎情報						
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期 通年		
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 15時間		
単位数	1単位			授業形態 講義		
教科書/教材	無					
担当教員情報						
担当教員	田中朋子/島立美人/富樫咲子/小峰建/吉野雄一郎/山下顕治	実務経験の有無・職種	有・音響会社/プラダル/マネジメント			
学習目的						
在学中に様々なライヴイベントに参加し、客観的な視点で自分を見るスキルを修得する。また、スタッフ系学科の学生とコラボすることも重点におき、学生が作成したセットリストや演出プランを見て「自分だったこうする」と言う視点を持つ事、またそれをスタッフに提案する事。それを、踏まえた上で出演、または、ライブ鑑賞する。それが1年後の自分の姿を想像させる事につながる。パフォーマンス系の学生はステージに立つまでの立ち振る舞いや態度などを学ぶことに重きを置きながら出演、または、鑑賞する。ライブレポートとして担任に提出し、後日担任との個別面談も含めた指導の中で学生一人ひとりに応じた適切なキャリアプランを見つけて、目標に向けて努力して道筋を指南する。						
到達目標						
セルフプロデュースをアーティストに求められる時代になり、作詞、作曲、アレンジ、楽器演奏のみならず、ライブをオーガナイズする事。スタッフを招集し、ライブをプロデュースすることもアーティストとして大事なスキルになってきている。卒業後に迫る近い未来の想像を行う事で、目標を達成する為の事前準備、ネゴシエーションの大切さを認識させる。ライブ鑑賞を行った日までに何が出来ていないといけないのかを理解させ、学生一人ひとりの年次スケジュールを組ませ自らのキャリアプランに活かせるようにする。						
教育方法等						
授業概要	ミュージックカレッジが指定したライヴイベントをに参加（出演または、鑑賞）して、全体を見渡した感想を後日レポートで提出する。学生から提出されたレポートを元に共通課題を見つけ出し、授業の議論課題とする。同じような悩みを常にクラスメートも抱えていることを知り、自由にその解決策や課題克服の為のスキルを共有する。					
注意点	15時間に満たす鑑賞時間は担任との面談で設定して行く。ただしReal Dreams、修了ライブ、卒業ライブといった大事な場面では必修として鑑賞させる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	0%				
	小テスト	0%				
	レポート	30%	ライブレポートを提出			
	成果発表 (口頭・実技)	0%				
	平常点	70%	出席点			
授業計画（1回～12回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	新入生歓迎ライヴ	片柳アリーナで開催される新入生歓迎ライヴに参加				
2回	サマーライブ1	赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加				
3回	サマーライブ2	赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加				
4回	サマーライブ3	Shibuya O-EASTで開催されるサマーライブに参加				
5回	かまた祭ライヴ1	片柳アリーナで開催されるかまた祭ライヴに参加				
6回	かまた祭ライヴ2	A-stageで開催されるかまた祭ライヴに参加				
7回	かまた祭ライヴ3	BOX stageで開催されるかまた祭ライヴに参加				
8回	Real Dreams	片柳アリーナで開催されるReal Dreamsに参加				
9回	卒業ライヴ1	赤坂BLITZで開催される卒業ライヴに参加				
10回	卒業ライヴ2	Shibuya O-EASTで開催される卒業ライヴに参加				
11回	GEMSTONE SHOWCASE	片柳アリーナで開催されるダンスパフォーマンス科のイベントに参加				
12回	MU卒業ライヴ	A-stageで開催されるミュージックアーティスト科のライヴに参加				